

〈一般的採点基準〉

- a 誤字・脱字・略字・表現未熟・文末表現ミス・文末句点なし等……マイナス1点。設問毎に減点
- b 未完成……失格
- c 解答欄の不正使用(二行書き、書き過ぎその他)……失格  
\*解答欄一行は三五文字程度とする
- d 比喩表現のママなど……減点もしくは加点無し

〈設問別採点基準〉

問一 (9点)

着実に自己変容の過程を進めていくうちに事柄の様相の捉え方が大きく変わるといふ、その過程自体により、以前分からなかったことが分かる心の状態を生じるといふこと。

\*①は、必須ポイント

- ① 主題＝以前にはわからなかったことが・わかるようになるという・心の状態を生み出す 3点
- ② 「下から地道に積み上げていく」の適切な置換 2点
- ③ 「視界が開ける」・「ガラリと変わる」の適切な置換 2点
- ④ 自己変容の過程そのものが(①・③を導く) 2点

問二 (9点)

自然現象は、その運動を人間やコンピュータによって数学的に計算し、現実的な時間内で正確に解くことが困難なのに、安定した運動をすることが理解しがたく思われたから。

\*①・⑤は、必須ポイント

- ① 主題＝自然現象(の運動)について 1点
- ② ①を人間が数学的に・計算するのは困難である 2点
- ③ ②を現実的な時間内で・正確に解くのは困難である 2点
- ④ ①は安定している 2点
- ⑤ ②・③にもかかわらず(逆接)④である 1点
- ⑥ 「不思議である」理由となる主観的述語で結ぶ 1点

問三 (10点)

人間の認知は身体と環境の間を行き交うプロセスであるから、判断や行為はすべて身体化された非記号的な認知として瞬時になされ、数学的思考も同様であるといふこと。

\*①と②もしくは④のいずれか一つは、必須ポイント

- ① 構文＝数学的思考も・「(二)の例外ではない」 2点
- ② 人間の認知は身体と環境の間の交差の過程である 2点
- ③ ②の結果・判断や行為が瞬時になされる 1点・2点
- ④ すべては・身体化された・非記号的な認知による 3点

問四 (10点)

芭蕉が、身体化された思考過程である境地の精度を上げ、時間や空間、自他の区別を拘泥せず、生きた自然の一片をそのまま迅速に把握し、五・七・五の句形に結実させること。

\*①と②④のいずれか一つは、必須ポイント

- ① 主題＝芭蕉の句のでき方について 配点無し
- ② 身体化された思考過程の精度を上げ・境地を進める 2点
- ③ 時間や空間、自他の区別にとらわれず 2点
- ④ 生きた・自然の一片を・そのまま・迅速に把握して 4点
- ⑤ 五・七・五の句形に結実させる 2点

問五 (12点)

数学的思考は非記号的な身体化された認知であり、迅速な数学的発見のためには身体化された思考過程自体の精度を上げる必要があるため、数学研究は、自己の生涯において深い自己変容の過程を進めることに等しいといふこと。

\*①と③⑥のいずれか一つは、必須ポイント

- ① 構文＝数学研究は自己研究である 1点
- ② 数学的思考＝非記号的な・身体化された・認知 3点
- ③ 身体化された思考過程(境地)そのものの精度を上げることが・必要である 2点・1点
- ④ ③は数学者(自己・岡豊)の生涯を生きることによる2点
- ⑤ 自己変容の・深い・過程そのもの(が必要) 3点